

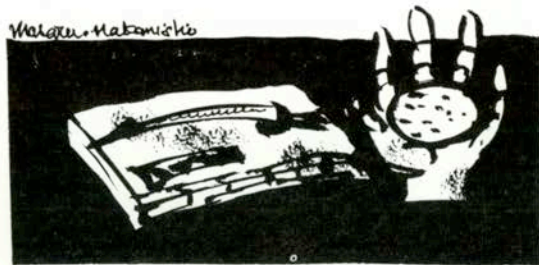
男の魅力

司馬遼太郎
え・中 西 勝

私は時代小説を書いているから、ひまができれば寝ころんで虫の食った本を読んでいる。女房は、そういう古本をさわった手でオニギリなどをたべたりする私をいやがり、物を食いたければ手をあらってこい、という。「バイキンだらけよ」と、医者のようなことをいう「だれがさわったかわからないやないの」と、さもきたなそうな目でそういう本を見る。なにをいってやがる。と内心私はおもうのだ、このきたない本のおかげでお前さんはごはんをたべていられるのじゃないか。

古本は、たいてい、東京の神田の「高山書店」という店で買うことにしている。だれそのことを知りたいと思えば、電話をかけるだけで、高山は県命に本をさがしてくれるからだ。そのかわり、短編などのばあい、本代のほうが稿料よりもうまわることがある。そういう話を知人になると「商売でいえば、モトを切ったことになるな」と笑われるのだが、それではミもフタもない。考えてみればへんべんたる私の作(さく)業よりも資料のほうがはるかに重い。私の小説は読みすてられてそれでしまいのものだが、資料は後代にまでこのこってゆく。むしろ私は短編を書いて資料を買っている、と自分で考えている。それだけに、私にとって資料は大事な宝物のようなものだ。

その宝物は、ざんねんながら外観はどうもよくない。虫食いや、煮物のこぼしあとや、日焼けなどでひどくきたらしい。むろん、バイキンのなかには、レブラ菌なども、そつとひそんでいるかもしれない。しかし、古い本を読んでいる、そのためにレブラになった



とすれば私をもって冥してもいい。私にとって、これほどおもしろい楽しみはないからだ。人間は楽しむのためにイノチをすててもよい（大ゲサだが）と思うようになってはじめて世の中が明るくみえはじめるのだ（たかが古本のことでもまったく大ゲサだが、事実、楽しみとはそういうものだ）。

海音寺潮五郎氏は、

「本をよむ楽しみにくらべれば、私にとって小説をかく楽しみなどはその半分にもあたらない」

といわれたが、このかたのばあい、それが極端で、シメ切りのせまっているときでも、資料を読みはじめると、わっとあふれるように読みつづけてしまい、奥さんがときどき書斎に入ってきて、

「あなた」

としからなければ、雑誌社にめいわくをかけてしまうという。海音寺さんはあるとき、

「私は小説を書くのが苦痛なんです。本だけよんで一生すごせる身分ならどんなによいかと思います」

といった。奥さんは横あいからクスクスわらって、

「私が書斎に入ってゆきますとね、このひとは、あわてて本をしまつて、原稿をかいているマネをするんです。そのかっこうが、勉強ぎらいの中学生が、あわててマンガ本をしまいこむような感じなんです」

このたのしみというのは、ちょっと人にはわからない。ひょっとすると、勉強ぎらいの中学生にしかわからなかもしれない。

私など、仕事がつまっていた、夜ふかしが何日もつづくとき、

「なぜおれは小説書きなどになったのか」と真剣に悩やむ。そのとき、（このいそがしさが一段落つけば、まる一日、どこか温泉へでもゆこう）などと思うのだが、いよいよその日がくると、まず、行かない。寝ころんできたならしい古本を読みたくるのである。結局、それをやってしまう。

ゴルフをやるひとは、世の中にゴルフほどいいものはないと礼讃し、ぜひおやりなさいとすすめるが、私は、内心、世の中でいちば

んおもしろいものはゴルフなんてものじゃないと思っ
ているから、かゆくもうらやましくもない。

なぜ昔の資料などがおもしろいのか、といわれるが、なんでもな
いことだ。そういう本を面倒を忍んで読みすすめるうちに、凝然と
してそこに人生をみつけることがあるからだ。ある男女の人生が、
また人間が、いきいきと、そのきたない紙のなかからおどり出てく
るのである。これは、息のつまるようなたのしみである。その人間
や人生をさまざまに想像しつつ読みすすめ、また関連した資料をさ
がして想像の肉づけをするうちに、まるでかれらは、私の友人や恋
人のような相貌を帯びて、書齋の横にすわってくれる。もう、こ
うだけで、この瞬間は悲しくなるほどのよろこびをあげよう。さ
らにその人間の事歴や背景などを調べたり読んだりするうちに、も
はや、かれは、私にとって、現実の人間以上に現実的になる。
むろん、それらをいちいち、小説にかくわけではない。小説にな
らないことのほうが多いし、なる、ならぬ、を考えるのは下根（げ
こん）のわざで、むしろ、小説にならぬ資料や想像のほうがたのし
い。なぜといえ、あとでこれを書かねばならぬという苦痛がとも
なわないからである。

私は、作家として、一生、男の魅力とはどんなものかを考えつづ
け、私なりに考えた魅力を書きつづけようと思っている。女に魅力
があるように、男には、どの男の中にも、きわめて魅力的な部分
がある。私は資料をよむとき、この男の魅力はどこか、と考える。魅
力が感じられなければ、どんなにおもしろくても捨ててしまう。

資料をよむたのしみは、男のそういう魅力に接するたのしみであ
る。この魅力は、現代小説では表現できない。現代というのは、男
が魅力を喪失した時代だからである。

私は資料をよみながら、ほうばくとした「時代」を背景にその男
の魅力を置いてみせ、美術すきの者が美術品を觀賞するような、舌
なめずるような楽しさでさまざまに想像する。このたのしみは、レ
ブラになるうがどうしようが、やめられるものではない。（作家）

④ 柴田音吉洋服店

神戸・元町通四丁目 ④ 0693

大阪・高麗橋二丁目 ② 2106



FUGETSUDO

贈る悦び 味覚の愉しみ

GAUFRES
ゴ ー フ ル

MARRONS GLACÉS
マ ロ ン グ ラ ッ セ

K o b e p i e r
コ ウ ベ ピ ア ー

FRANCE SENBEI
ふ ら ん す せ ん べ い

創 業 明 治 三 十 年



風 月 堂

神 戸 ・ 元 町 三 T E L . 神 戸 ③ 695 ・ 696

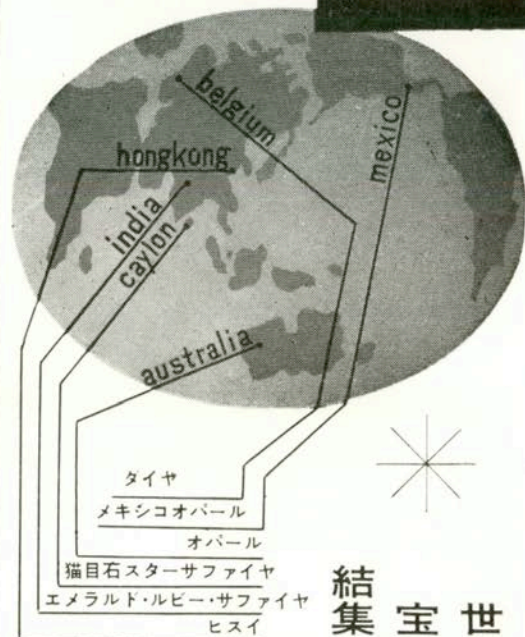


きものさろん 西店 神戸
 服飾細貨 東店 東京
 きものと細貨 新橋店 東京

おんがら庵

神戸・西店 TEL ③ 8836
 東店 ③ 0629
 東京・新橋店 (571) 0807

DIAMOND



世界の
 宝石を
 結集した

宝石輸入商・宝飾店

タジマ

神戸・元町2丁目
 TEL ③ 0387・2552

芸能記者くらし十年余そここのカケダシの私に、神戸っ子の編集部五十嵐さんから「好きなスター」それも「女優」はだれ。その理由について——書いてくださいというハガキを手にしたとき、私は思わず冷汗がにじんできた。というのは、五十嵐さんが神戸新聞学芸部時代に、私がひとりでネツをあけていた宝塚歌劇生徒を知っているからである。当時私はよほどのほせていたのだから「百年にひとりしか生れない美人」と、彼女を評した記事をかいたことがあるぐら이었다。

その彼女が第一線で働いていたら、いまでも私は、ちゆうちよせず書いただろうが、残念ながらいまは、人の女房、その人は成駒屋夫人である。扇雀さんに「いつも、ごひいきになりまして——」と、ニヤリとやられても始まらないのでおそまつな悲恋物語？は暗転して、本題の「私の好きなスター」に登場してもらおう。

◆ その人も、やはり人妻である。ラブさん（岡本愛彦氏）の恋女房モリミツちゃんこと森光子さんだ。よほど人妻が好きにできている変な男といわないでください。理性と教養上？、やはり綿菓子ヘヤーのチンピラ女優は性があわなないのでから——。

◆ モリミツちゃんの舞台で、いちばん感銘したのは「放浪記」の林芙美子ではない。彼女の芸を知っている人なら、いまさらどおしてあれだけ評判になったのだらうと



私の好きなスター
森 光子さん
前 田 三 公

クビをかけたことだろう。私もその一人だ。

それより二年前上演した「花のれん」のお茶子（寄席の案内女）の方がよかった。二月梅田コマ「放浪記」上演中、私は彼女にこのことをいようと、モリミツちゃんもうなずいてくれた。主役の座よりワキ役の方がモリミツちゃんのもっているものが発揮されるからだ。林芙美子と共通した人生の道を歩いてきた森光子と、あらゆる週刊誌は書いていたようだが私はモリミツちゃんぐらいっ

斗魂〃のもった女優はいないと思う。アメリカ二世との初婚のユメ破れ、胸をわずらい余命いくばくもないといわれたころからの知友だが、ナニクソといったファイトをいつももっていたダイマル・ラケットさんや蝶々さんらと舞台上で暴れ回っていたころ「アドリブの味をしりました。個性のあるアドリブでないとダメです。笑わせてやろうと思っても笑ってくれませんよ」と、笑いの舞台と四つに取り組んでいたものだ。それを見た菊田一夫氏が白羽の矢をたてて、東宝演劇部に引きぬいたわけだが、そのとき菊田氏が「昔、新興キネマに森光子という娘がいたけど、彼女はその娘かね」と、私にたずねたことがある。私は思わず菊田氏に「女優はやはり化けものですよ」というと「なるほど」とうなずいたものだ。あれから三年しかたないのにモリミツちゃんは、芸のシワが顔にできている。好きな女優森光子にいいたい「早く主役の座をおりなさい。ワキ役の方が女優としての道が長いですよ」と——。

（日刊スポーツ文化記者）

神戸だからえがく夢

文・藤本義一
え・佐々木侃司

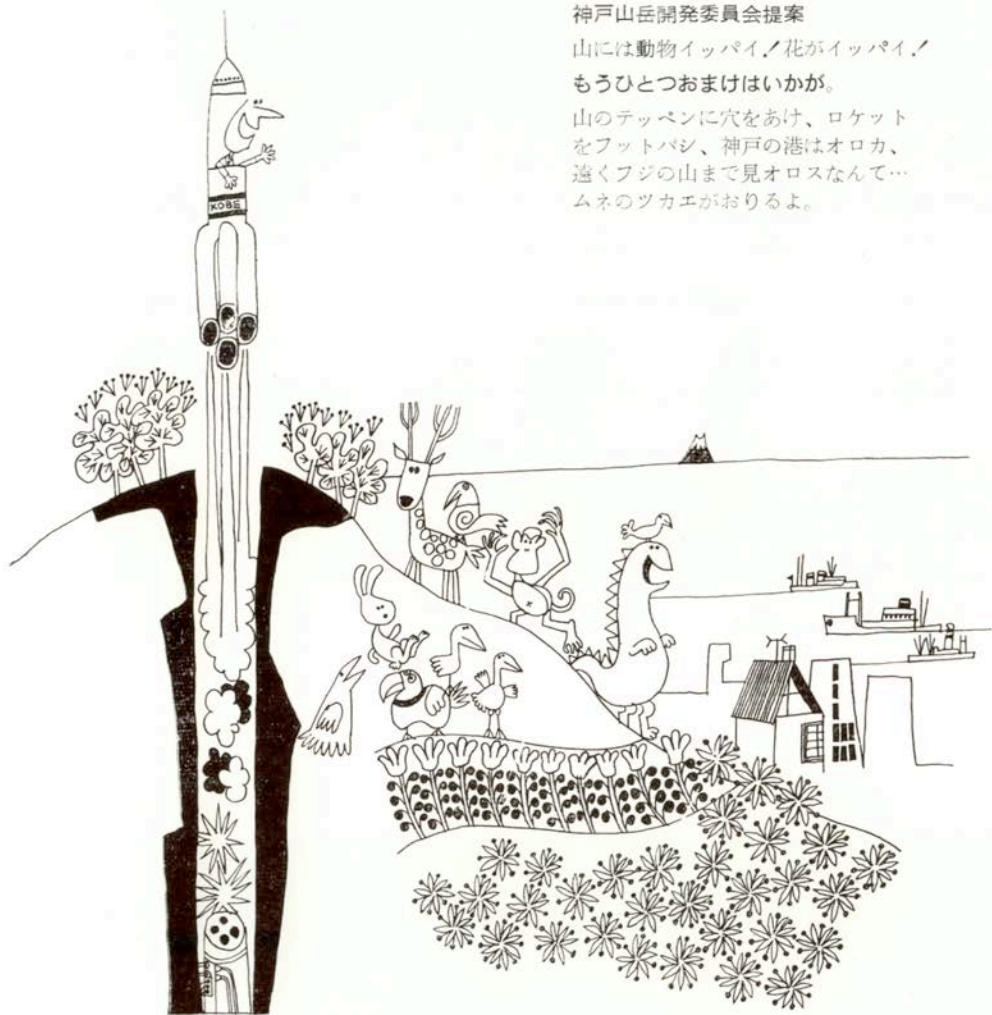
No.6

神戸山岳開発委員会提案

山には動物イッパイ、花がイッパイ、

もうひとつおまけはいかが。

山のテッペンに穴をあけ、ロケット
をフットパス、神戸の港はオロカ、
遠くフジの山まで見オロスなんて…
ムネのツカエがおりるよ。



諏訪山を

忘れてやしませんか

神戸の山の手というと、いつの場合も登場するのはトア・ロードから東の一带であって、県庁前であがって行きつく相楽園、諏訪山あたりは案外わすれられている。王子公園へ移るまで、動物園はこの諏訪山にあった。急傾斜の山中腹から谷あいまでをうまく利用して、いまから思えばよくこんな狭いところに――と驚くようなところへ私たちは少年時代、何度となく出かけたものであった。しかしとにかく動物園であり、象をはじめ一通りの鳥とけものがいたのであった。その土地が、いまは荒れるにまかせて打ち捨てられてある

この山の頂上、というより丘の台地は少々の広さを持っており、神戸の各キリスト教会が合同で早朝の暁天礼拝をやったりする。ここが金星台と呼ばれるようになったのは、明治7年12年9日にフランスの技師ジャンサンがこの高台で金星の太陽面通過を観測してか

らであった。りっぱな記念碑がのこされている。ここから見おろせば、街も港も手に取るようである。茶店が2、3軒あって飲みものや簡単な食べものが注文できたが、いまはどうなのだろうか。

金星台からさらに急坂を登ると再度山ドライブ・ウェイに出る。

この道をももの5分も奥へ向かって歩くと諏訪山展望台への入口があり、私は遠い土地からの友人を観光案内するコースの1ツに、いつもここまでタクシーを飛ばせることにしている。ここからの眺めはまた一段と広く、しかも金星台とくらべてグンと人影も少ない。街の夜景をたのしみながら語るにふさわしい雰囲気を持っている。

ここまでを含めて一帯を「諏訪山ファミリー・センター」とでも名づけ、総合的な遊園地がつくれれば子供は喜ぶだろう。私が小学生の頃、諏訪山動物園には1ツの魅力があった。それは山の急斜

面を利用した△長い滑り台▽だった。ありふれた木製のが1ツ、そしてもう1ツは2本の鉄棒が15cmくらいの間隔をあけて長く走りおりていて、ここへ少年が尻をのっけると、下まで滑って行ける新型だった。そのような、地形をうまく利用して設ける遊戯施設が、いたるところにつくれそうなカツコウの丘なのである。

もと動物園あとには一部分をくぎつて、うさぎ、あひる程度を何十匹、何十羽か飼い、広い囲いのなかへ親子づれが入っていつて、子供が自分でうさぎをかかえたりできるようにするとか、限られたスペースもそれなりに生かせるみちがありそうに思える。

そんなくらいで人が来るものかと、せせら笑われるかもしれない。それなら桜の木を植えることである。戦前もここには確か桜が咲いていたと思うが、せまく区切られた土地だから、少々の数でも随分はなやかに見えるものだ。「六甲山を緑にする会」の向こうをはって「諏訪山を桜いっぱいにする会」でもつくればどうか。相楽園も近いことだし、再度山ハイキング・コースの途中にも当たるわけだから、半日をのんびり過したい人たちにはきつと喜ばれるに違いない。



昨年の日本一に選ばれた

神戸中央合唱団

のどかな日曜日の午後ともなれば、閑静な山の手、生田区中山手六丁目にある頌栄短期大学から、きまって美しいコーラスがきこえてきます。

これは昨年度のアマチュア合唱団コンクールで日本一に選ばれた神戸中央合唱団——中村仁策氏の指揮による団員約百三十人が始める練習風景です。

いま神戸には、土曜会、コーラル、ポルテール、六甲男声、新月会、神戸コーラスなど多くの優秀なアマチュア合唱団があるが、なかでも創立以来十五年を数えるこの神戸中央合唱団は昨年全国第一になったのをはじめ数々の輝やかしい成績をもっている。すでに十数回の出場を数える関西合唱コンクールには、第一位に三回入賞、また一位をはずしても三位以下になったことはないという。

毎年一回開くリサイタルには、数年前から水下保氏をはじめ前田寺二郎、齋藤超氏など有名な人たちを招いて指揮をとってもらう

など意欲的で、今年の七月一日神戸国際会館で開く第十四回リサイタルにはイタリアのニコラ・ルツチ氏が予定されている。

ところでこの神戸中央合唱団がスタートしたのは戦後の昭和二十一年暮れのこと。かって栄光教会（戦前は日本メソジスト神戸中央教会といっていた）の聖歌隊メンバーだった指揮者の中村仁策・静子夫妻や藤原純孝マナージャーを中心にならずか二十人足らずで結成されたコーラス・グループにすぎず、それもソ連に抑留された主人を待つ静子夫人を慰めてあげようという友情から出発したもの。

そして二十二年秋、甲陽学園で開かれた「兵庫県第一回合唱コンクール」に出るのをきっかけに「神戸中央合唱団」と名付けた。それ以来、会員数は増える一方で、いまでは百三十人を超える大世帯サラリーマン、BG、主婦、高校生と職種はさまざまだが、会員のうち約三分の二は女性で占められている。また指揮者の中村夫妻をはじめ夫婦や兄弟そろってメンバ



（写真は松井高男氏）

ーに参加している人たちが多い。それだけに雰囲気は家庭的でなごやかと、そのチーム・ワークのよさには定評がある。コーラスで結ばれる人たちも多く、すでに十三組のカップルが誕生していると

神戸中央合唱団の育ての親でもあり、リーダー格の中村仁策氏は同志社大出身のクリスチャン、今後の抱負を次のように語っています。

「アマであるため、みんな仕事を持ってますから、どうしても練習不足といった悩みはあります。でも熱心な方ばかりなので、

できるだけ楽しい雰囲気で作ってもらえるよう努力したい。近代的な作品もとりあげたいのですが、まず古典的な基礎を十分やったりえて、それから近代のものにとりあげていきたいですね。とにかくこの秋の全国コンクールにも頑張る、中央にいたことを誇っていただけるような合唱団に育てていきたいですね」



(のどかな日曜日に美しいコーラスの練習にはげむ中央合唱団のみなさん)

貴重な努力のつみかさね

松井 高男

神戸中央合唱団の輝やかしい成果は、その着実な努力の積み重ねのうえに得られたものです。

いうまでもなく、プロとアマでは、おのずからそこに性格の違いがあるわけですが、プロかならずしもアマにまさっているとはいえません。演奏に責任をもつということは、プロもアマも共通のことではなければなりません。ただ違っている点は、アマの場合、聞かせることより、むしろ歌う楽しさ、合唱する楽しさの方がかかっているといえることでしょう。そこにまた同好会的なアマチュア合唱団の社会的意義があることと思われまします。したがって、いたずらにプロ化への野心をおおるようなことはたいへん無責任なことといわねばなりません。意欲というものは、そうした外面的なものに向けられるのでなく、当然のことながら、あくまで合唱技術の向上、音楽性の追及、楽曲への深い解釈という本質的な問題に向けられるべきでしょう。神戸中央合唱団はそうしたまじめな歩みをつづけてきた合唱団です。

ただの、しろうとの集まりから世界的な合唱団になった例は外国にはいくつもあります。神戸中央合唱団もまた、好むと好まないにかかわらず世界的な合唱団になりうる可能性を持っていることでしょう。市民の一人としてできるかぎりの声援を送りたい気持ちでいっぱいです。

(神戸新聞学芸部長)

低音の魅力
神戸一郎

花時計

イカ
と
トンボ

青木重雄



パリから日本の某デパートへ洋裁師として招かれてきているマルガレーター・バクスターという二十六歳のフランス女性が、新聞記者から「東京の女性の服装をどう思うか」と質問されて「小柄な日本女性にショート・スカートは似合わない。まるでイカみたいだ」とズバリ言っているのは面白い。背が低いのに髪を、天平時代の官女よろしく高く積みあげた女性のショート・スカート姿は、まさにイカの面目躍如といったところ。ついでにイカが、頭のツイカれたのイカにも通ずるといったら、彼女はふき出すに違いない。「男の細いズボン姿はまるで蚊トンボみたいでおいしい」と、若い男性批判の方もなかなかシラツ。イカとトンボが、現代日本のシンボ

へ花咲き、花散るよいも……
戦前藤山一郎がうたってヒットした「東京ラブソング」だが、いま神戸一郎がうたってまたヒットしている。彼がうたえば藤山とはかなり趣きが違う。グツと低音でリズムカルなのだ。しかも健康な甘さもただよう。伴奏の間はパチンパチンと指をならすのもちょよっといキ。
一昨七一、五十九キロの均勢のとれたからだにマスクがまた適当なあまさと清潔さがたまたよう二枚目ときている。うたう表情の中できおりのぞく二重まぶたがティーンチャーのハートをゆすりキチャーワイワイさわがれる神戸に生まれ神戸に育った生粋の港っ子。兵庫県立夢野台高校から神戸商大にはいったが、うたにあこがれて同大学を飛び出し、上原げんとの門をたたいた。三十二年十月全国歌謡コンクールで優

勝しコロンビア専属歌手となり、魅惑の低音を表看板にメキメキ頭角を現わし今や名実ともに歌謡界のトップクラス。

最近のリバイバルブームにのってリバイバルソングも得意としているが、ロカビリー調のもの、マドロスの、艶歌調のもの、無難にこなす器用人でもある「港シンソング」も神戸っ子らしく港の気分を出すのがうまいし「東京ラブソング」も持ち味を發揮して好調リバイバルソングといってもそのリズムとハーモニーに近代性をもたせているところが人気の源泉といえる。うたは現代に生きるものであるということを彼はよく知っているのだ。しかしリバイバルソングをうたわされるところに彼の強味と同時に弱味もある。もつとオリジナルなうたへの開拓が彼のこれからの課題といえよう。

(草野)

ルなどとはだれも思わぬだろうが第二次世界大戦中の日本青年のシンボルがイカ(軍艦)とトンボ(飛行機)だったことを思い出して、皮肉な時代の移りかわりに思わず苦笑を禁じられないおとなたちもいかに相違ない。ところで、このイカとトンボにビッタリツイストなる踊りが大流行。もつともツイストは世界的流行でグラマ(均整のとれた身体つき)、魅力的な女性と百科辞典に書いてある)女優のソフィア・ローレンまで踊っているのだから、日本のイカ・トンボ族がふるい立つのもムリはなからうが、イカとトンボの足や腰がこれ以上ひん曲がっては「見ちゃいられねえ」といいたくなることも事実だ。



Fashion

VIENNALINE

世界のめがねがやって来た

神戸眼鏡院

元町3・電③3112-3・0551(貿易部)

MITA
WATCH
SHOP

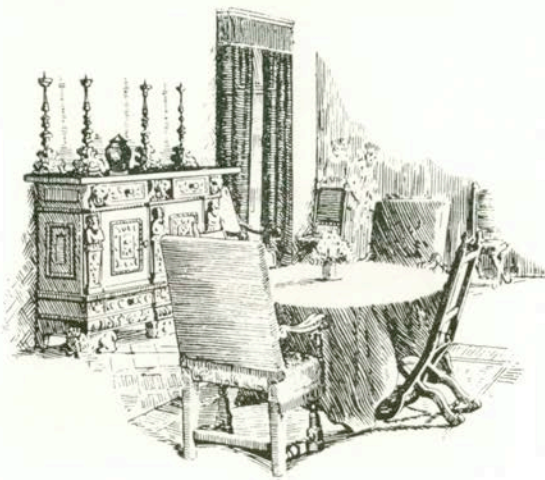
宝石と時計

●創業以来八十年

 **美田** 時計店

元町3 TEL 三宮(3)1798

家具・室内裝飾・工芸品



永田良介商店

大丸前 TEL { ③ 5 5 2 0
③ 1 2 9 0

呉作漆職

みよ〜也

神 戸 大 丸 前

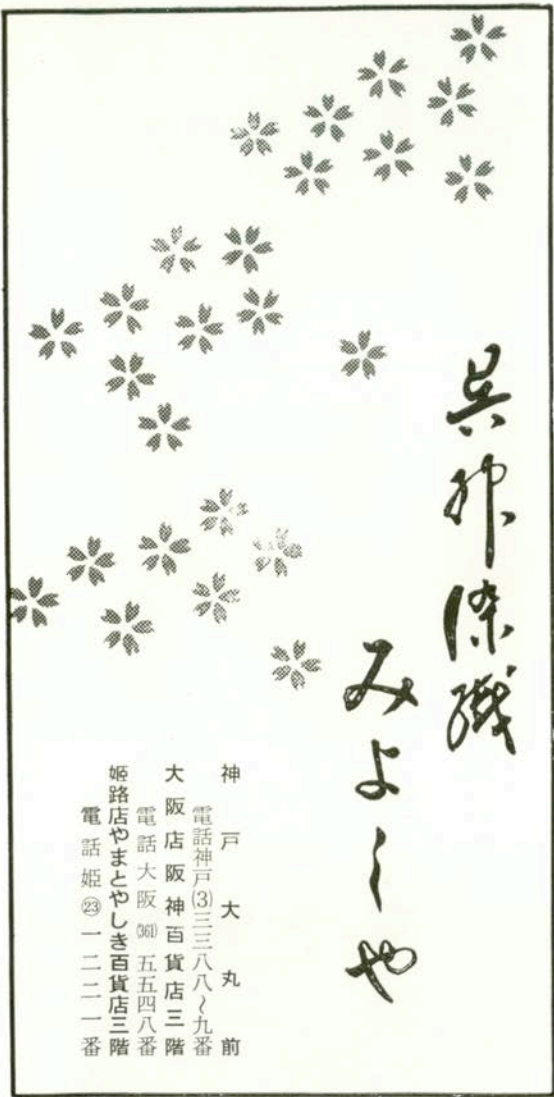
電話神戸③三三八八〜九番

大阪店 阪神百貨店三階

電話大阪⑧五五四八番

姫路店 やまとやしき百貨店三階

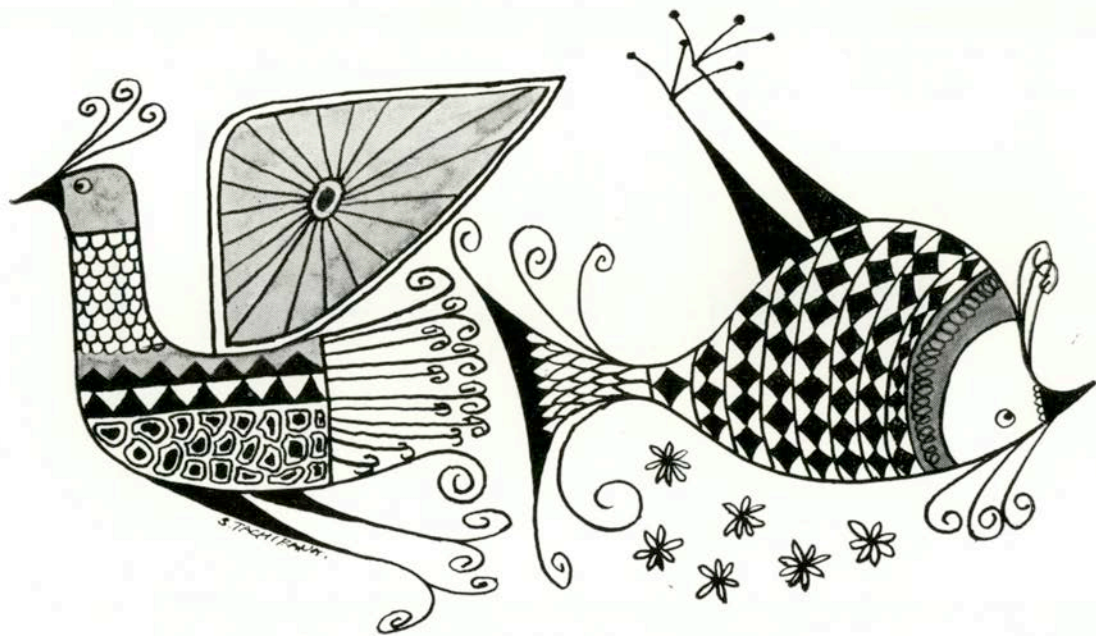
電話姫②一 二二二 一番

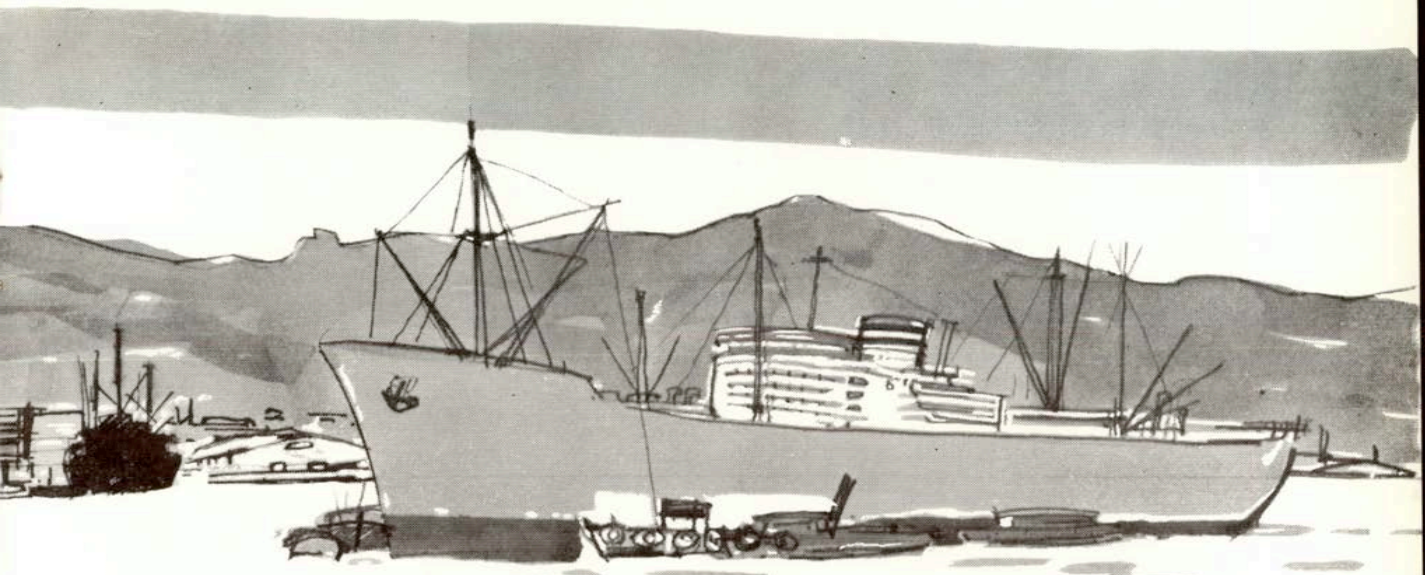


GREEN SEASON

吹く風も
さわやかな
グリーンが
季節が
神戸の街に
やってきました

小鳥のさえずり
草花のほほえみに
あなたも
わたしも
グリーンの季節を
楽しみましょう





綱領

われわれ JAYCEE は

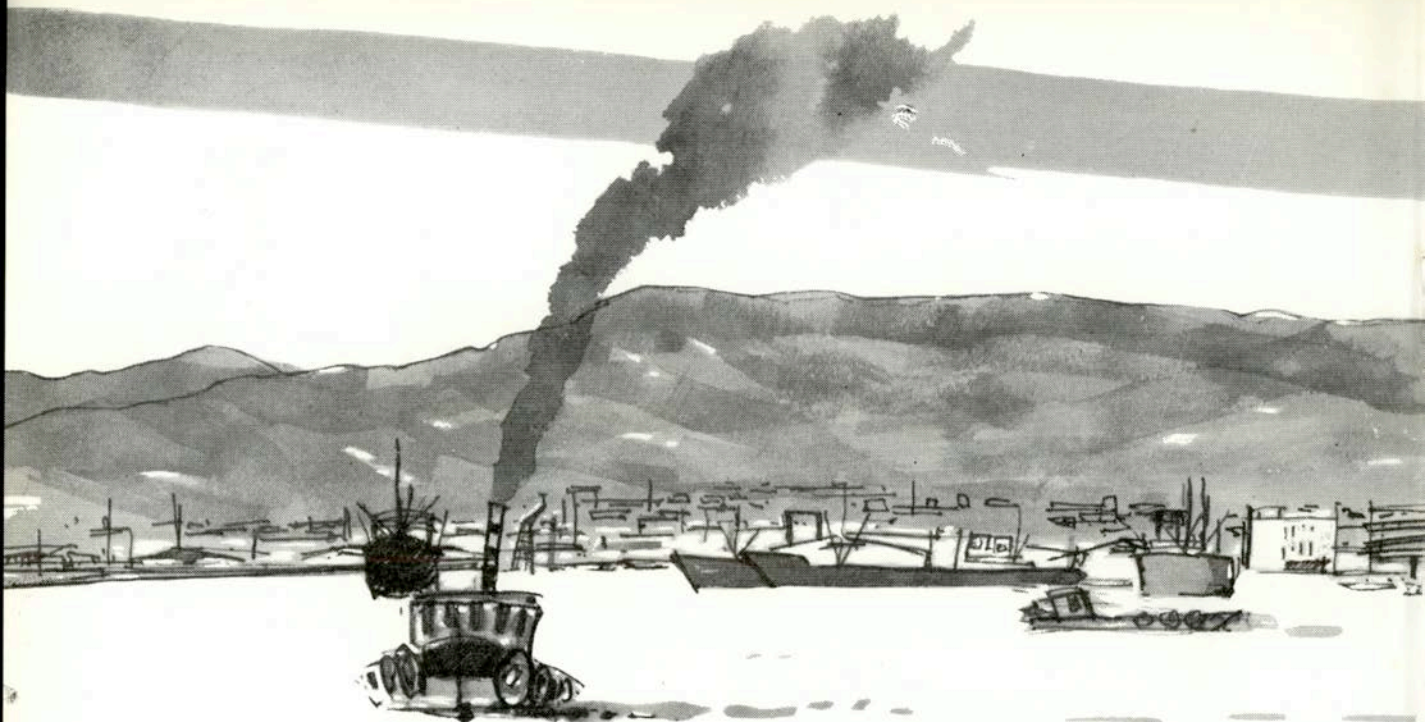
社会的・国家的・国際的な責任を

自覚し志を同じうする者相集い

力を合せ青年としての英知と

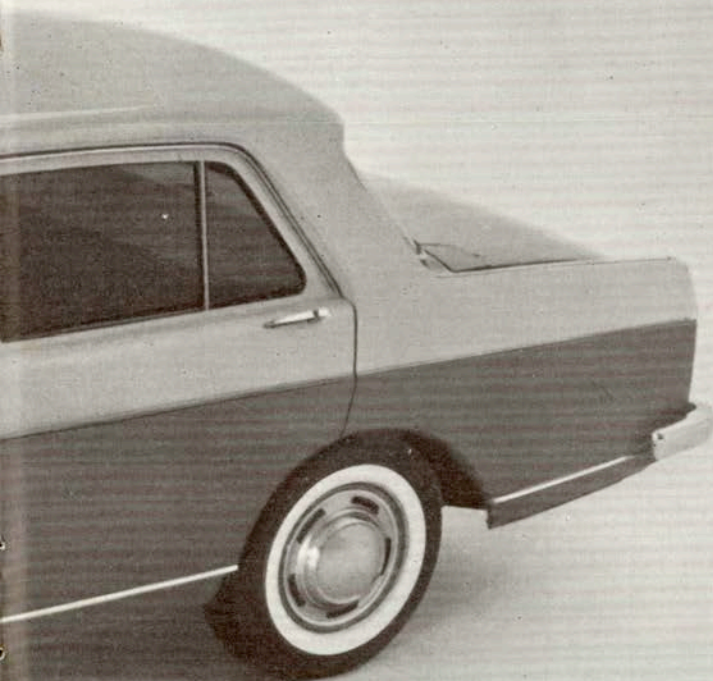
勇気と情熱をもって明るい

豊かな社会を築き上げよう



神戸青年会議所

総務委員会
会員委員会
広報委員会
経済活動委員会
修練委員会
社会奉仕委員会
親睦委員会
渉外委員会



栄光の車

いすゞベルレ

技術の伝統50年、国産車の歴史を築いた
いすゞ自動車は、ヒルマン国産化の経験
をもとに誕生させた<いすゞベルレ>低
く長く広い気品あるスタイルのローヤル
ライン。あかるいスクリーンハイウェイ
スコープ栄光の車<いすゞベルレ>は新
しい時代のハイウェイを走ります。

全国统一価格・スベアタイヤ工具付

- ベ レ ル 2000 デラックス ¥ 998,000
- ベ レ ル 2000 スタンダード ¥ 798,000
- ベ レ ル 1500 スタンダード ¥ 768,000
- ベ レ ル 2000 ディーゼル ¥ 848,000

兵庫いすゞモーター株式会社
神戸市葺合区雲井通4~15 TEL ☎ 4751



Royal
in
Bellel



港町の初夏

エメラルドの海から
世界の香りを
いっぱいひのせて
さわやかな風が
港町をいろどる初夏
美しい神戸の
トップシヨップで
楽しいお買物

■初夏の楽しくらしに贈る商品
のかずかず

(写真左より) ネット止めのついた新しいスタイルのワイシャツ(フナキヤ) 神戸新名物トードムボールの置物・革のハンドバッグ(イクシマヤ) ヴァイキングの船(いそかわ) ソニーFMトランジスターラジオ(元町電機) 初夏に着る舶来のドレス地(トールイ洋装店) スカーフ(エスターニユートン) 夏向きネクタイ・ポロシャツ(サカエ) 独自のデザインによる洋裁バッグ(いそかわ) 舶来のスコットランド人形・オペラバッグ(エスターニユートン)

輸入婦人服地雑貨の店

**エスター
ニユートン**

トア・ロードの1818

創作ハンドバッグ

アクセサリーと工芸品

イクシマヤ

元町一 (3) 二四二五〇六

トードムボール

トールイ洋装店

新聞会館1階 ②二八一八

趣味の工芸品の店

いそかわ

トア・ロード ③三三九八

男子洋品の店

フナキヤ

元町三 (3) 三六六七

紳士洋品の店

サカエ

元町二 ③五二二二

あらゆる電器製品の店

元町電機

元町六 (4) 三七〇一五

